

## 平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	小林和弘
	全体計画			経費区分	-	内線	3152
事務事業名	4054 財産管理事業						
所 属	050300 総務部・財政課						
施 策	07024500 長期的展望に立った財政運営						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020105 総務費・総務管理費・財産管理費					
	事業	010000 財産管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
市民サービスの低下を招かぬよう公共施設の適切な維持管理を行うとともに、普通財産の有効活用を図る。				普通財産（市営住宅跡地など）を積極的に処分する。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
普通財産の売払い 6件 売却価格 185,916,151円 土地貸付 年間収入額 5,152,977円 建物貸付 年間収入額 1,972,583円 固定資産台帳の作成準備	普通財産の売払い 2件 売却価格 13,409,000円 土地貸付 年間収入額 5,043,025円 建物貸付 年間収入額 1,960,074円 固定資産台帳の作成
平成29年度 予定	平成30年度 予定
土地・建物の適正管理 活用見込のない財産の処分 固定資産台帳（兼）財産台帳の管理	土地・建物の適正管理 活用見込のない財産の処分 固定資産台帳（兼）財産台帳の管理
平成31年度 予定	平成32年度 予定
土地・建物の適正管理 活用見込のない財産の処分 固定資産台帳（兼）財産台帳の管理	土地・建物の適正管理 活用見込のない財産の処分 固定資産台帳（兼）財産台帳の管理

指標名	無し						
算式						単位	百万円
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	44	0	0	33		
	実績	13.4					
指標選定の理由	財源確保のため、実施計画を作成						
最終年度目標の根拠	実施計画値						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		440,397	28,078
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	36,574	16,802
一般財源		403,823	11,276
人員数(人)	正規職員	1.4	1.4
	嘱託職員	1.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	10,106.6	10,106.6
	嘱託職員	2,755.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	12,861.6	10,106.6
市民一人当たりの経費		8.7	0.7
総額		453,258.6	38,184.6

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	188	消耗品費
13節 委託費	3,988	公有財産管理システムデータ整備業務委託 公有財産管理システム改修業務委託など
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	436,221	保険料8,253 積立金425,110

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	380	消耗品費 市有施設修繕料
13節 委託費	1,188	市有財産維持管理委託料（草刈、樹木伐採等） 登記委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	26,510	市有財産加入保険料 基金（財政調整基金、公共施設等整備基金など）積立金等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	市民の財産（公有財産）の適正な管理と処分は必要不可欠である。 今年度、国から要請されている固定資産台帳の整備が終わり、今後は毎年度の異動分を適正に反映し、財産管理（マネジメント）に役立てていく。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	市の活用見込がない普通財産の処分を積極的に行っており、市財政に寄与している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	売却が困難な財産についても積極的に貸付けるなど、市が直接管理する場所を少なくして効率化を図っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市の活用見込がない普通財産の処分を積極的に行った。今後、売却が困難な土地について課題を整理し、課題解決に向けて検討していく必要がある。  
国から要請されている固定資産台帳の整備を行った。今後、財産管理（マネジメント）に活用することを視野に、より詳細な情報（沿革、耐震化の状況、稼働率など）を加えていく必要がある。

**ACTION**

**1次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント	
市民の財産の適正管理を進めるため、処分できない土地の課題の把握と解消を図ることが必要。固定資産台帳は、最初の更新作業を迎えるが、財産所管課の理解度を高める必要がある。	

**2次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
2次評価コメント	
普通財産の処分が徐々に行われている。処分できない土地の課題の把握と解消を図ることが必要。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	